

公立保育園では、学びに向かう“5つの力”を大切にしています。

・好奇心 ・協調性 ・がんばる力 ・自己統制 ・自己主張

主な行事	ねらい	大切にしている事、内容、
入園式・進級式	入園、進級を喜び合い、保育園生活に期待を持つ	保護者にとって忙しい日でもありますが、子どもを囲んで保護者・職員が、一同にかいし、新しい一年のスタートの日を大切にしています。 子どもたちがクラス紹介の中で、自分の名を呼ばれて返事をしたり、5歳児がみんなを温かく迎えるために手遊びや言葉をかけるなど、子どもたちや保護者が安心できるような内容にしています。 クラス懇談会も行われ、担任や保護者同士が顔なじみになれる機会としています。
プール遊び	各年齢ごとのねらいをたてている	プールは水の中で自分を解放し発散できるよう工夫をしながら、顔付けや浮く事に挑戦するなど がんばる力 が育ち、友だちと刺激しあい応援しあい、自信をつけていく場となっています。
プール開き 閉まり	プール遊びに期待を持つ プール遊びの最終日をみんなで楽しみ、これで終わりという区切りにする	年齢ごとに考えて、水の中のゲームや水遊び等、これから始まるプールに期待を持てる内容にしています。 子ども達は“プールが楽しかった！”“みんな、がんばったね” そんな思いを持ち、来年へ期待をつなげる区切りの日で、幼児クラスではプールを囲んで、一人ずつ成果を見せ合い、その姿に「すごいね！」等、互いの成長を喜び合う言葉を掛け合っています。また5歳児はそれぞれの力がわかり、みんなで一つの事（出し物等）を、披露（ 協調性 ）しています。
お泊り保育	一人一人が自分の思いを出し、友だちと力を合わせて楽しいお泊り保育にする。 みんなで泊れたことを喜び、自信をつける。 友だちや職員との繋がりを深める	5歳児が家族の元を離れて、保育園に泊まり、自分たちで考え、協力しあい楽しい経験を共にする中で“泊れた”という事が自信につながり、仲間との関係（ 協調性 ）を深める機会にしています。5歳児（ひまわり組）になったらお泊りができることを期待しつつも、泊まれるかなと、不安を抱く子もいます。そんな思い（ 自己主張 ）を出し合い、友だちと何度も話し合う事で“みんながいるから大丈夫だよ”と、不安や葛藤を乗り越えて（ 自己統制 ）その日を迎えます。 夕飯づくりでは自分たちで考え、買い物、調理も行い、皆で協力しあっていく大切さを学んでいきます。4歳児は5歳児の活動を見て興味を持ち、終了後には紙芝居などで報告を受け、 好奇心 や来年への期待を持ちます。また応援してくれる保護者や職員とのつながりも深まります。
夏祭り	夏の夜のひとときを親子、職員、地域の子も達と楽しく過ごし、親睦を深	保護者と共催で行う行事です。 盆踊りやゲームなどで当日の夜は、子どもたち・保護者・職員も楽しめます。 この準備を通して、クラスを超えた保護者同士のつながりが出来ます。

	める	
運動会	思い切りからだを動かし、友だちと一緒に力を発揮する	<p>0歳児から5歳児迄の全園児が参加します。</p> <p>日ごろやってきたあそび（好奇心）を発展させ、一人ひとりが自分の力を充分に発揮（がんばる力）しながら、仲間と力を合わせて（協調性）楽しんだり、頑張ったりできる場、その姿を見合える場にしたいと考えています。</p> <p>幼児クラスは自分たちが競技内容（自己主張）を考え、目標に向かって教えあう姿や応援しあう姿を通して、友だちと共にがんばる力をつけていきます。お互いを見合う事や縦割りでの競技を通して、あこがれの気持ちや思いやる気持ちも育つ運動会を目指しています。保護者にとっても、0歳から5歳の発達が見られる場になっていると共に、親子、保護者と職員の競技もあり楽しい交流もできています。5歳児はグループ毎に0～3歳クラスのお手伝い（自己統制）をします。</p>
相撲大会	自分の力を精一杯出して取り組む	<p>3・4・5歳の行事を、乳児クラスが応援します。一人ずつ自分で四股名を考えていきます。四股名にもこだわり“これが強そう！”等と考え、自分の四股名のイメージをまわしに描いています。5歳が3歳に頼まれ（自己統制）三つ編みをしてあげたり、4歳は5歳に教わったり腰に結ぶ紐も子どもたちが作ります。取り組み相手も考え（協調性）、去年負けたから今年は勝ちたい、去年強かった〇〇ちゃんと、やりたいなど、様々な思いがあります。寒い中、「はっけよいのこった！」の音が響き渡り、当日は0歳からみんなが見守る中にどちらにも後に引かない（がんばる力）、熱戦が繰り広げられます。</p>
お手伝い交流	小さい子とかかわる中で、自分が大きいと感じ、思いやる気持ちや接し方を知る。手伝いをする事で喜んでもらう喜びを感じ、自信をつける。自分たちが生活している保育園の事を知る	<p>年長児が0・1・2歳・事務室へと、グループごとにお手伝いに行きます（協調性）。保育園の生活はたくさんの人達との関わりの中で、大きくなった事を感じていきます。事務室では、園長・用務・保健師・栄養士・調理員の手伝いをしながら（好奇心）、様々な仕事に触れ、一つ一つの仕事が園の生活を支えている事を知っていきます。また0・1・2歳のクラスでは、小さい子との関わりの中で（自己統制・自己主張）“こんなに小さかったんだな”“みんなに手伝って貰いながら過ごしていたんだな”という事を改めて感じ、自分の大きさや大切にされてきた事を感じてほしいと思います。</p>

大きくな ったお祝 い会 (春の 会)	大きくなったこと を喜び合う	子どもたちは保護者から離れて保育園の仲間や職員とともに生活 (好奇心・協 調性) しています。 朝、別れがたくて泣く友だちに“うんうん、わかるよ、淋しいよね”と言わん ばかりにそっと頭をなでたり、涙をふいて、とティッシュを持って来たり、その 子の好きなおもちゃを渡したりと、0歳児クラスでも見られる場面です。共に 育ち合い、日頃の遊びや生活を通してつけた力で相談し合い (自己主張・自己 統制)、形にしてお互いに見せ合い (がんばる力)、認め合い、喜び合います。 毎年、工夫を凝らした楽しい会食もしています。
クッキー パーティ ー	5歳の卒園をみん なで祝う。	卒園する5歳児に向け、3・4歳児で感謝の思いを伝えるパーティーを開催 (協 調性) します。事前の準備では部屋の装飾を分担して作り、プレゼント等も考 えます。当日はクッキーを作り、0歳から参加の園全体での会になります。5 歳児はみんなの前で一人ずつ行く先の学校名を言い、就学への期待の姿を見せ てくれます。また、卒園式に参列できない0～3歳に向けて、式での歌声を聞 かせてくれます。
卒園式	みんなに支えられ、 仲間と共に成長し たことを新たな出 発の機会にする	保護者と共に全職員が在園時代表として4歳児も参加します。 5歳はみんなが見守る中、花道を歩き卒園証書を手渡されます。おおきくなっ た事と保育園の思い出を仲間とで考え合うなど、思いをことばや歌にします。 仲間意識が育ち伝える力もつき、成長を感じる式です。
保育 参観		保護者の方に子どもの生活や友だちとのかかわり等見てもらい、 園での生活への理解、安心してもらえる為に行っています。
懇談会		個別面談を含め、必要に応じて行っています。 園での様子や家庭での様子を話し合うことで、子供たちを理解していく場にし ています。
誕生会	その月に生まれ友 だちをみんなで 祝いし、共に成長を 喜び合います	毎月、その月に生まれた友だちを、乳児・幼児クラスに集い、お祝いします。 大きい子は、前に出て、名前を言い「〇歳になりました」という言葉は、どき どきしながらも自信にあふれています。小さい子は名前を呼ばれると「はい！」 と返事をし、年齢を指で表したりします。担任からの誕生児紹介は、照れたり、 恥ずかしそうにしながらも、とっても嬉しそうです。手作り誕生カードには、 友だちと一緒にの写真も載っています。また工夫を凝らした会食も魅力の一つで す。

秋のごっこ遊び (幼児)

<p>ごっこ遊び</p>	<p>みんなで一緒にごっこ遊びに取り組み、役になりきったり、異年齢の関わりを楽しむ</p>	<p>5歳児クラスが中心に考えたごっこの世界を、4歳児にも協力をよびかけ、遊びを楽しみながら準備をしていきます。3～4つのコーナーをつくり、5歳児はグループ毎に力を合わせて取り組み、4歳児は自分の好きなコーナーに参加し、4、5歳で協力して楽しい一日を（ごっこの世界）作っていきます。“ここを入り口にしたいから、看板作ろう”と文字に興味を持ったり、“小さい子が待っている間に歌を唄ってあげようか”“〇〇人ずつ乗ったら出発しようね”等、考え、工夫しています。3歳児も4、5歳の活動を見て、コーナーに参加して活動したり、お客さん役になったり、色塗りなどの準備を手伝ったりもしています。乳児クラスは、お客さんになって、幼児とのやりとりを楽しみます。</p> <p>小さい子に喜んでもらえたり、役割を最後までやりきる事で、自信をつけます。(好奇心・協調性・がんばる力・自己統制・自己主張)</p>
--------------	---	--

伝承行事 昔からの行事を伝えていく

<p>七夕 笹もやし</p>		<p>大きな笹に子どもたちが作った飾りや、保護者の方と考えたお願い事の短冊を飾ります。当日は昔から伝えられている七夕の由来を、ブラックシアターやペープサートにして子どもたちに伝えていきます。給食は素麺に野菜を星や川に見立てて切った飾りをのせて会食を楽しみます。</p> <p>翌日には、笹もやしを行います。</p>
<p>餅つき</p>	<p>つきたてのお餅を食べる 日本の伝承行事を伝える</p>	<p>日本人が古来から主食として大切にしている米の豊作を祈る文化を伝えると共に、餅のできる過程を知り体験することもねらいとしておこなっています。前日から年長児が餅米を研いで準備しています。園庭に餅米を蒸す、かまどを作り、臼と杵でつきます。おこわが蒸しあがって時、子どもたちに「これがつくとお餅になるよ」と一口ずつ味わったり、変化を楽しみます。みんなの代表として年長児がつくと、“ヨイショ ヨイショ”“がんばって”みんなで応援し合い、力を込めて突き上げます。つきたてのお餅に触れると、「柔らかーい、あったかーい」と、感触もあります。0・157などの食中毒を防ぐために、しっかり火を通した餅を給食やおやつで味わいます。</p>

給食

食べることで大切なことは、生活リズムや食べる空間の安定、信頼関係のある仲間（家族、友だち）との食事など食環境を十分に整えることだと考えています。

そして給食では、それぞれの食材の味を伝えるよう味付けや調理方法に工夫をしながら、手作りを心がけています。調理職員は、作るだけでなく、各部屋に顔を出し、今日の食事の栄養や作り方など、子どもたちと直に交流しています。子どもたちはこの人たちの作った食事とわかることで安心して食べる事ができます。調理員が子どもたちの食べる様子を見ることで、子どもにとってよりよい食事を作ることに繋がり、さらに意欲も高めていきます。離乳食なども、ひとりひとりの発達に合った形態や量を把握し、食べるうれしさや喜びを共感しながら心にも届く声掛けをしています。アレルギー児の対応についても、保護者と連絡をみつにして、器の色を変えて、その子だけでなくほかの子も理解しわかるようにしています。

栽培や調理のお手伝い、調理保育や日々の食事から、五感を通して子どもたちに生きるために必要な「食」

について前向きに考え、選べる人間を育てていくことを大切にしています。

また、「食」を通して人との絆を深めやコミュニケーションを育てていくことも、職員間で共有しながら進めています。

調理保育

<p>芋煮会 うどんづくり カレー</p> <p>ポップコーン ジャムづくり クッキー パン</p> <p>かりんとう 団子作り 皮むき</p> <ul style="list-style-type: none">・ トウモロコシ・ 玉ねぎ・ グリンピース	<p>生涯にわたり、心身ともに健康な生活を送るために「食を営む力」高め、興味や意欲を膨らましていく。</p>	<p>年長児はお泊り保育で、包丁やピーラーを使っての皮むきから、かまどで煮炊きをしています。園全体のおやつ作りも行い、ポップコーンやパン等も作り、各クラスへの配膳も行い、一緒に食べて交流もしています。その中で食の成り立ちを知り、大切に食べようと思う気持ちも育ちます。また、幼児クラスでは、野菜作りも行っており、種をまく、苗を買ってきて植え、水やり雑草とりをして大きく育つのを、待ちます。自分たちが育てたものを食べた時は、格別の味わいです。他クラスへのお裾分けも楽しみの一つです。</p>
--	--	---